

2022 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023 年 4 月 18 日
- 事業名 : 知的障がいのある子どもへの性暴力防止事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人大阪府人権協会
- 実行団体 : 特定非営利活動法人キャップセンター・ジャパン

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
つながりづくり 当事者以外を含む予防 に取り組むネットワー クが構築される。	ネットワーク の構築（共通 認識を持ち、 課題にむけて 相談しあえる 仲間／機関・ 団体がいる）	ネットワー クに参加してい る社会資源の 数が増える	—	<p>●2021 年度オンラインセミナー参加者を対象とする同窓会企画を 8 月に実施。16 人中 6 人が参加（7 人参加の予定が当日連絡があり 1 人ご欠席）。遠く離れた場所であっても、現状を変えようと動いている、動こうとする仲間がいること、今回の企画で確認できたことが自分の原動力になるということがアンケートやグループワークでの発言からくみ取れた。それだけ日々は孤立感を感じているということかと思われるが、支援者をエンパワーし続けるしくみやアプローチの重要性が明らかになった。</p> <p>●2022 年度オンラインセミナー第 4 回の「社会資源」や「法律」を扱った回では、知識を得ることで、社会全体として性暴力に対して子どもを守ろうとする動きがあることやつながれる社会資源との多機関連携にむけて動いていきたいという意識の変化がアンケートやグループワ</p>	2

				<p>ークの意見で見られた。「教育」「児童福祉」「障がい福祉」それぞれの分野が、本来は連携・協働することが必要であるにも拘わらず、共通認識を持って動けず、お互いに“ちょっと無理をする”（参加者のグループワークでの言葉）ができない状態なのを改めて感じる事となった。次回以降のセミナーで今回の学びを生かし、「つながりをつくる」ために必要なことを具体化し、寄与していきたい。</p> <p>●CAP プログラム実践者に機関誌を通じて、本事業の事前評価アンケートについて情報共有し、知的・発達障がいのある子どもへの性暴力について共通認識を持ち、今後の境界線を育むプログラム提供に対する意欲を高める情報提供を行った。（対象者：のべ645人）</p> <p>●サークルズプログラムの普及において、ターゲットを高等部の子どもの性暴力防止と人権擁護に絞り、就労先や放課後を過ごすサードプレイスでのおとなへの試行実施をするため、連携・協働先を見いだすことが大きな課題となっており、足を使い、汗をかいて発掘していきたい。</p> <p>●2022年度報告会（2023年3月）において、サークルズプログラムに関心を寄せてくださった団体が複数あり、アプローチしていくことを予定。個別にお声かけいただいた方からは、過去に性暴力の事例につきあたり、どうしたらいいのかと考えていたところとのお話をいただき、必要な取組みであることを再認識した。</p>	
日常において知的障がいのある子どもの心とからだの境界線を育む知識とスキルを持つおとなが増える。	知識とスキルをもって日常生活に活かすおとなの増加	150人以上	2023年度	<p>●2022年度のオンラインセミナーは定員15名のところ16名が参加。境界線を育むサークルズプログラムの考え方を紹介しながら、中心である“自分だけの紫色サークル”を強化していくことを各回で強調した。終了後アンケートでは、全回で「より理解が深まった」「理解が深まった」で100%の回答を得た。</p>	2

			<ul style="list-style-type: none"> ●セミナーで、①障がいのある子どもが権利行使の主体として生きること、②子どものウエルビーイングと権利の実現をめざすことを各回で強調したところ、75%の方が子どもとの関わりにおける意識の変化を感じられたとのアンケート結果を得た。2023年度はさらにブラッシュアップしたオンラインセミナーを実施予定。 ●サークルズプログラムの普及のターゲットを高等部の子どもの性暴力防止と人権擁護に絞り、就労先や放課後を過ごすサードプレイスでのおとな対象のカリキュラムを啓発と研修の2つのカテゴリで時間設定を3つずつ設けて開発を進めた。2022年度末から「やってみたい!」と思えるような広報用のリーフレットの作成を進めており、キャッチーなコピーの検討を進め、広報をスタートする予定。性暴力防止を正面切って伝えるというよりも、ハラスメント防止、人権侵害防止という側面を検討し、知識とスキルを持つおとなを増やすことに貢献していく。 ●監修を終えたサークルズプログラムの考え方を取り入れ、施設職員にむけて試行実施したところ、「わかりやすかった」「理解が進んだ」との回答を得た。これらの試行を生かし、日本の文化、障がいのある子どもの特性に沿ったおとな対象のカリキュラムを完成させ、試行実施し、障がいのある子どもが権利行使の主体として過ごせる環境（性暴力などの暴力がない状態）をつくっていく。 		
知的障がいのある子どもが心とからだの境界線について日常で学び、実感する機会が増える。		90人以上	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ●サークルズプログラムの監修作業は一部積み残しはあるものの完了。2022年度に実施したオンラインセミナーにおいてもサークルズプログラムの考え方をすべての回で活用しながら、性暴力防止にアプローチした。境界線の学びを深めたことにより、サークルズプログラムへの関心は高まり、セミナー最終回のアンケートでは6割強の方が「も 	3

				っと学びたい」との回答を寄せる結果となった。2023年度は過去のセミナー参加者を対象とした広報のための動画やプレゼンテーションを行い、学びの機会をつくっていき、カリキュラムの試行実施を行う。	
知的障がいのある子どもの心とからだの境界線を育むプログラム提供のできる実践者が養成される	境界線のプログラムを提供できる実践者の増加	36人	2023年度下半期	<p>●CAPプログラム実践者に機関誌を通じて、障がいのある子どもへの性暴力に関する社会状況や本事業のオンラインセミナーの実施状況や参加者アンケート、さらにサークルズプログラムの情報共有し、知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止の必要性についての共通認識を深め、今後の境界線を育むプログラム提供に対する意欲を高める情報提供を行った。(対象者：のべ645人)</p> <p>●オンラインセミナーに16人中5人が団体内からの参加で、障がいのある子どもへの性暴力防止に取り組む必要性への意識が高まっており、実践者の養成にも期待の高まりを感じている。</p>	3

*進捗状況：1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.活動に関する報告
<p>●プロジェクト会議を計30回実施。(チーム数は2。チーム・性暴力防止セミナーは16回の会議。チーム・サークルズプログラムは14回の会議。メンバーはそれぞれ4名ずつで重複するメンバーは2名)</p> <p>●知的・発達障がいのある子どもへの性暴力防止オンラインセミナーの実施。定員15名のところ、16名が参加。(ゼロベース1回と5回)</p>

連続講座の計6回)

●境界線を学ぶサークルズ (Circles) プログラムの監修作業。ほぼ終了し、おとな対象 (企業、障がいのある子どもに関わる団体/放課後等デイサービスなど) のカリキュラム作り、資料作り、教材作りに着手。

●団体内での情報共有 (通信等での報告)

●団体外への社会啓発・情報共有 (機関誌への掲載)

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

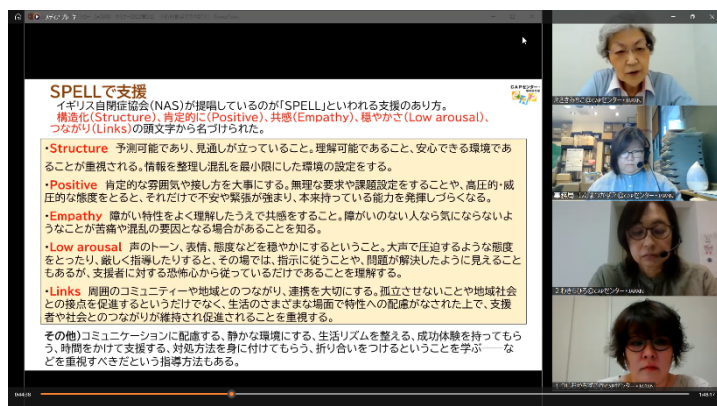
- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください (自由記述):

2. 広報

- 1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)
- 2.広報制作物等
『CAP NEWS』No.42 (2022年10月) 発行。1300部
- 3.報告書等
- 4.イベント開催等 (シンポジウム、フォーラム等)

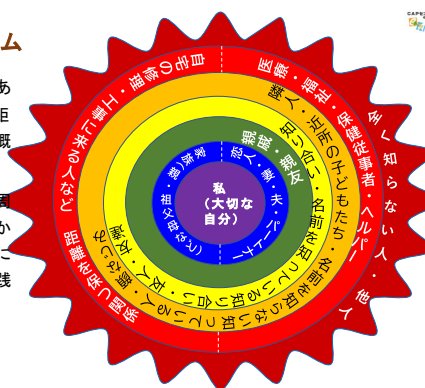
添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）



サークルズプログラム

- 目的：知的・発達障がいのある子どもに、人との社会的距離、関係性の構築といった概念を獲得する。
- 自分を肯定してふるまい、周囲の人々と安心・安全に豊かなコミュニケーションするにはどうしたらいいかを、実践的かつ体系的に伝える。



④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：理事会にコンプライアンス担当理事を置き、コンプライアンスの相談窓口を開設し、団体内で周知している。理事会を実施するなかで、団体運営に関する問題提起については必要に応じて取り扱っており、第三者介入が必要になった場合は、開催するようなくみにしている。

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：